

ステンレス製床板用グレーチング 歩行用 FB

●限界スパン表

型 式	メインバー の寸法 mm	メインバー ピッチ mm	質 量 kg/m ²	許 容 たわみ	設 計 荷 重			
					3.5kN/m ² (357kgf/m ²)		5.0kN/m ² (510kgf/m ²)	
					限界スパン mm	たわみ mm	限界スパン mm	たわみ mm
FB30-20	FB20×4	30	25.6	1/300	1070	3.5	950	3.1
				1/500	900	1.7	800	1.6
FB30-25	FB25×4		31.4	1/300	1340	4.4	1190	3.9
				1/500	1130	2.2	1000	1.9
FB30-32	FB32×4		40	1/300	1720	5.7	1530	5.0
				1/500	1450	2.9	1290	2.6
FB30-38	FB38×4		46.8	1/300	2040	6.7	1810	5.9
				1/500	1720	3.4	1530	3.0

- ❖たわみ1/500 (人が歩行時に不安を感じないたわみ) 人の歩行の頻度が多い場所。
- ❖たわみ1/300 (人が歩行時に多少不安を感じるたわみ) あまり人が歩行しない場所。
- ❖限界スパンは使用する諸条件によって異なりますので、あくまで上記の1/500・1/300は参考です。

●歩行仕様

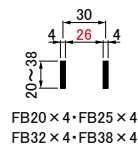
※9.80665N=1kgfにて計算

設置場所	荷重条件	荷 重
歩 行 	等分布	3.5kN/m ² (約357kgf/m ²)

※
建築基準法施行令第85条
(い)の欄(5)その他の場合の
数値を適応。
詳細は資料編21-44ページ参照。

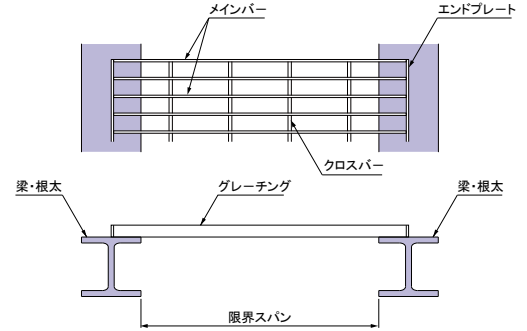
●メインバーの詳細

ノンスリップタイプも製作できます。



●備 考

- 床板用グレーチングは、基本的にメインバーの両端部に梁・根太等の受けを必要とし、梁・根太等の支間は各グレーチングの限界スパン値を越えないようにしてください。



- グレーチング1枚あたりの

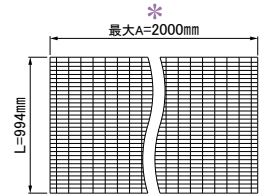
最大寸法は、

- *2000mm×994mm以内に抑えてください。

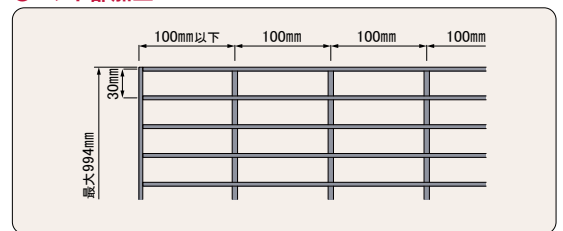
- グレーチングの運搬時・敷き込み時のグレーチング質量を考慮してください。

(質量は●限界スパン表参照)

- グレーチングは、蓋1枚あたり4ヶ所、クリップ等にて固定してください。
(7-9ページ 固定例 参照)



●エンド部加工



●経済的寸法について

普通目ピッチ@30(H=20・25・32・38)

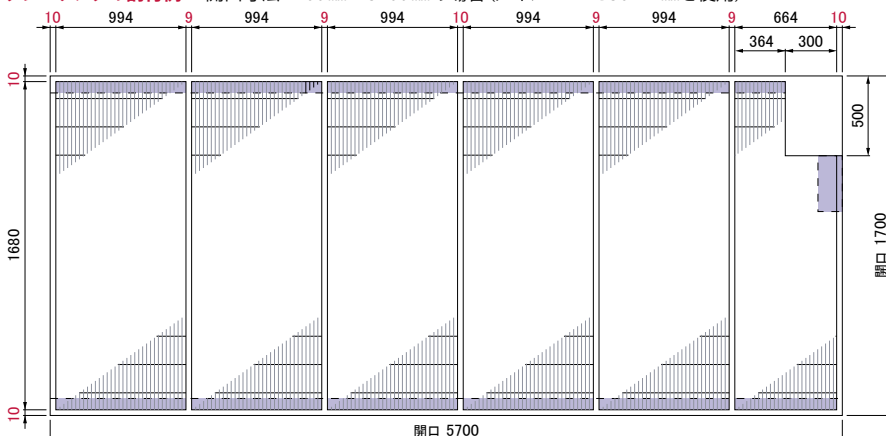
- グレーチングのL寸法は、経済的寸法のL=994または、484を多くご使用ください。
- その他のL寸法とする場合は、メインバー目取表の目取りの良い寸法としてください。
- L寸法が標準以下となる場合は、L=394を最低寸法の目安としてください。
- グレーチングとグレーチングの間のクリア(スキマ)にて調節してください。(クリア6mm~25mm)
- A寸法については、A=1000, A=1500, A=2000が経済的です。



メインバー目取表

メインバーの本数/本	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
メインバーの幅/Lmm	394	424	454	484	514	544	574	604	634	664	694	724	754	784	814	844	874	904	934	964	994

グレーチングの割付例 開口寸法 1700mm×5700mmの場合(メインバー FB38×4mmを使用)



グレーチングを上記のように効率の良い寸法にし、両端のクリアは10mm程度、グレーチングとグレーチングの間のクリアは均等に振り分けてください。

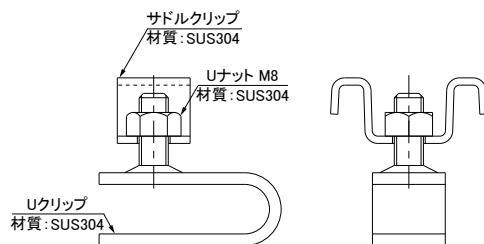
グレーチングの片側の標準受幅は、50mm程度をお勧めいたします。
中間の受材の幅は100mm以上をご使用ください。

部は受けが必要箇所

固定金具(オプション部品)と固定例

サドルクリップ SC-7S ～ SC-8S

Uクリップ UC8-20S ～ UC8-38S



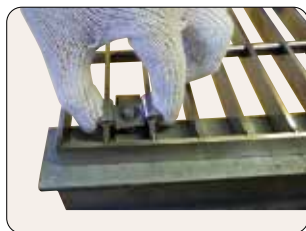
サドルクリップ 適用型式表

メインバー (mm)		型式	Uクリップ	
寸法	ピッチ		型式	下部受材適用厚さ
FB20×4	30	SC-7S	UC8-20S	4～6mm
FB25×4		SC-8S	UC8-25S	6～9mm
FB32×4			UC8-32S	6～10mm
FB38×4			UC8-38S	

取付手順(サドルクリップ)



1. Uクリップを受材に挟み込む位置は、グレーチングの端からメインバー2本目と3本目の間が望ましい。



2. Uクリップのボルトにサドルクリップを写真および上図のように差し込む。



3. エンドプレートに写真上のようにつめの部分をしっかり押し付けながらUナットを締め付けていく。



4. 同様にグレーチングの4ヶ所を固定して完成。

固定例(サドルクリップ)

